

授業展開案 高等学校英語「コミュニケーション英語Ⅰ」

1 テーマ

自分の考えを伝える・現在進行形

2 I C T 利活用のねらい

文法についての説明を聴くだけでは理解しにくい現在進行形の用法をスライドで提示することにより、視覚的な補助を与える。また、スライドで言語の使用場面を設定し、コミュニケーション活動の活性化を図る。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板

②教材：「現在進行形」(Microsoft PowerPoint)

4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>前時の本文の内容の振り返り</p> <p>言語の働きについての導入</p> <p>表現の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話すことを中心とした活動 ・聴くことを中心とした活動 <p>自己表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書くことを中心とした活動 <p>I am happiest when. . . に続く文を書く。</p> <p>ペアやグループで意見交換をした後で、数名が発表する。</p>	<p>①説明の補助：教師が現在の状況を口頭で描写した後に電子黒板に文を提示する。</p> <p>②繰り返しによる定着：電子黒板にイラストや写真を提示し、生徒に口頭で描写させる。</p> <p>③体験の代行：海外のテレビコマーシャルを提示し、実際にどのような場面で表現が使われているのかを確認させる。</p>

5 I C T 利活用のポイント

①教師の説明資料(図)

教師が教室での現在の状況を口頭で描写した後、電子黒板に文を提示する。音声とジェスチャーで意味を類推させておいてから、話した文を提示して確認させる。必要に応じて書き込みを行い、ポイントを整理する。例文を多く出すことで、言語の働きについて生徒に意識させることを図り、あまり教師の説明が長くならないように留意する。

③Point

I am standing.
You are sitting.

I am looking at you.
You are looking at me.

I am speaking English.
You are listening to me.
Or maybe you are thinking about lunch.

図 教室内の状況を描写する文の提示

②繰り返しによる定着(写真1)

言語の使用場面として、一人が家事をしていてテレビが見えないので、もう一人がその内容を描写して相手に伝えるという場面を設定する。活動内容としてはペアでじゃんけんをして勝った方は顔を伏せておき、負けた方のみが電子黒板上の画像をみる。その後教師がすぐに画面を消して、画像を見た方は相手に内容を伝える。数名を指名して、自分が聴いた内容を言わせる。最後にもう一度画像を提示して全員で答えを確認する。生徒にとってなじみのあるキャラクターや歌手等の画像を使ったり、答えに多様性が生まれるような画像を使ったりすることで、活動を盛り上げる。また、生徒にはジェスチャーや言い換えを使って相手に伝えたり、聞きかえしや確認をする表現を使って相手の話を聞いたりすることを促すことで、コミュニケーション能力の育成を図る。



写真1 画像の内容を相手に伝える活動

③体験の代行(写真2)

生徒が身につけた表現が実際にどのような場面で使われているのかを動画を用いて提示する。まず、ワークシートに視聴するポイントを示しておき、全員で確認をしてから動画を提示する。教科書や音声CD以外の生きた英語に触れさせることで、学習内容に対する現実感や臨場感を与えたい。また、海外の映画やテレビコマーシャル等を字幕なしで視聴させることで、部分的に既習の表現が聞きとれた、内容を理解することができたという成功体験をさせて、今後の英語学習への動機付けを図る。



写真2 動画を使った言語の使用場面の確認